くだまつ農山漁村ツーリズム協議会

- ○体験コンテンツを開発する事によって地域への来訪者に対し、新たな過ごし方を提案していく
- ○新たな特産品を戦略的に開発する事により、生産者利益を最大化していく
- 〇継続的な事業実施主体を確保していく

山口県下松市

【採 択 年 度】 令和3年度

【事業実施期間】 令和3~4年度



トレイルランコース



笠戸ひらめ

【実施体制】 くだまつ農山漁村ツーリズム協議会 (事業実施主体) 中心的な 宿泊 食事 体験•交流 その他 役割を担 部門 部門 部門 う団体 下松市 •下松商工 ·一般財 •公益財団法人 下松飲食 山口県農業協同 業協同組合 下松市水産振興 会議所 団法人下 組合周南統括本部 基金協会下松市 松市笠戸 •笠戸島 営農経済部 栽培漁業センター 島開発セ エールプロ ·山口県漁業協同 ・米川地域づくり連 ンター ジェクト 組合周南統括支店

【特徴的な取組】

- 〇定置網漁を体験し、捕れた魚を捌いて召し上がって頂くまでを体験コンテンツとして開発
- 〇きのこ栽培施設の見学ときのこ狩り、試食までを体験コン テンツとして開発
- ○笠戸島のフグを特産品として付加価値を付け、競争力のある物としていく



【取組内容】

①地域の意識統一に向けた、セミナー開催

関係者を集め本事業取組への意義を確認し、目的への意識統一を図る。

②先進事例調査及び研修

農泊の取組に関する優良事例である徳島県そらの郷の受入体制や地域への影響や課題などを視察、下松市に合致するスキームを検討構築する。

③体験コンテンツ造成

笠戸島地区、米川地区において個別に考えられているコンテンツを持続可能なコンテンツとして販売に繋げる。

④モニタ―ツアーの実施

コンテンツ体験箇所を繋ぐツアーを造成。参加者からのアンケートにより強み、課題抽出する。

⑤プロモーション・販売手法の検討

作成した体験コンテンツがターゲットへ効率的に届くプロモーションであるか、検討する。

⑥くだまつ農山漁村ツーリズム協議会ホームページ立上げ

コンテンツ商品へのランディングページとして活用していく為のホームページを作成する。

⑦特産品開発事業

笠戸島や米川地区の独自性を出し、より競争力のある特産品としてい く為に専門家の知見を入れながら開発を進める。

インバウンド対応状況	(青:対応)
------------	--------

12/1/2/17/0/1/10 (13 - 73/10)						
Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュ レス	外国語 HP	外国語 案内表示	外国語 ネット予約	
WiFi	wc	¥		Aa		